

2025年2月13日

各位

会社名 フロンティア・マネジメント株式会社
 代表者名 代表取締役会長（CEO） 大西 正一郎
 （コード番号：7038 東証プライム市場）
 問合せ先 執行役員カンパニー企画管理部門長 濱田 寛明
 （TEL. 03-6862-8335）

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2025年2月13日開催の取締役会において、2024年12月31日を基準日とする剰余金の配当を無配とすることを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2024年11月13日公表)	前期実績 (2023年12月期)
基 準 日	2024年12月31日	2024年12月31日	2023年12月31日
1株当たり配当金	0円00銭	未定	41円00銭
配当金総額	—	—	480百万円
効力発生日	—	—	2024年3月28日
配当原資	—	—	利益剰余金

2. 理由

2024年12月期の期末配当予想につきましては、未定としておりましたが、業績が確定したことから、配当額についても確定いたしました。

当社の配当方針は、2022年12月27日に公表した「配当方針の見直しに関するお知らせ」の通り、配当性向の目標を親会社株主に帰属する当期純利益の40%とし、連結子会社フロンティア・キャピタル株式会社（以下、「FCI」という）の損益や投資有価証券評価損等のキャッシュの移動を伴わない損益の影響を控除した資金的裏付けのある損益を基に配当金額を検討することとしております。

しかしながら、本日（2025年2月13日）付で開示しております「2024年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の通り、2024年12月期の業績は、コンサルティング系事業（経営コンサルティング事業、再生支援事業、及びその他事業）については全体として増勢基調を維持し過去最高の売上高を達成したものの、M&Aアドバイザー事業については、前連結会計年度においては複数の大型M&A案件が成約に至り順調な業績で推移しましたが、当連結会計年度においては国内のM&Aビジネスの不振等により全体として成功報酬に至る案件数が減少したことにより、前連結会計年度比で大幅な減収となったため、親会社株主に帰属する当期純損失694百万円を計上する結果となりました。

これを踏まえ、上記の配当方針に基づいて親会社株主に帰属する当期純損失からFCIの損失を控除（投資有価証券評価損等のキャッシュの移動を伴わない損益はありません）しても193百万円の損失となるため、誠に遺憾ではございますが剰余金の配当を無配とさせていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、早期に復配できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

（参考）年間配当の内訳

基 準 日	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
当期実績	0円00銭	0円00銭	0円00銭
前期実績 (2023年12月期)	0円00銭	41円00銭	41円00銭

以上